

(2019/8/29版)

## 第13回MUレーダー・赤道大気レーダーシンポジウム 第403回生存圏シンポジウム

日時: 2019年9月9日(月) 14:00~17:50 (懇親会 18:00~19:30)

10日(火) 10:00~14:40

場所: 京都大学 宇治キャンパス 宇治総合研究実験1号棟4階遠隔会議室 HW401・402

主催: 京都大学生存圏研究所

Web: <http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/ear/sympo.html>

### プログラム

講演15分 + 質疑5分 (1鈴12分, 2鈴15分, 3鈴20分)

9月9日

(座長: 橋口浩之)

14:00 - 14:10 MUレーダー・赤道大気レーダー全国国際共同利用の現状

MUレーダー/赤道大気レーダー全国国際共同利用専門委員長 山本衛

14:10 - 14:30 航空機トランスポンダの受信信号から得られる高頻度水平風の特性評価と気象観測データとしての活用

吉原貴之・瀬之口敦・毛塚敦・齋藤享・古賀禎(ENRI)・古本淳一(メトロウエザー)

14:30 - 14:50 大気電場計測による首都圏の雷雲活動に関する研究

浜田純一(首都大)・松本淳(首都大)・鴨川仁(静岡県立大)・高橋幸弘(北大)

14:50 - 15:10 Spectral observation theory for atmospheric radar

西村耕司(極地研)

15:10 - 15:30 パラメトリックスピーカーを用いた低騒音型RASS用音源の開発

橋口浩之・六車光貴(京大RISH)

15:30 - 15:50 MUレーダー送受信モジュール制御機能の再開発

黒川浩規・山本衛・橋口浩之(京大RISH)

15:50 - 16:10

=== 休憩 ===

(座長: 浜田純一)

16:10 - 16:30 インドネシア泥炭地域レーダー観測に関する最近の話題

山中大学・川崎昌博(地球研)・松見豊(名大)・大橋勝文(鹿児島大理工)・Muhammad Arif Rahman (BMKG)・甲山治(地球研・京大東南研)・小川まり子(京大東南研)・橋口浩之(京大生存研)・森修一(JAMSTEC)

16:30 - 16:50 EAR観測における雨滴エコーを利用した推定校正値の変動

下舞豊志・小野達也(島根大)

16:50 - 17:10 Ku帯衛星回線の台風通過時における降雨減衰変動特性

前川泰之・佐々木駿一・柴垣佳明(大阪電通大)

17:10 - 17:30 TBEx衛星・COSMIC-2衛星からの2周波ビーコン波による低緯度電離圏観測手法の開発

氏原伸裕・山本衛(京大RISH)

17:30 - 17:50 新しい衛星=地上ビーコン受信機の開発・配備・テスト観測状況

山本衛(京大RISH)・Roland Tsunoda (SRI International)

18:00 - 19:30

=== 懇親会 (プログラム末尾をご覧ください) ===

9月10日

(座長: 下舞豊志)

- 10:00 - 10:20 春季の東南アジア下部対流圏におけるオゾン増大：発生メカニズムと3次元構造  
荻野慎也(JAMSTEC)・宮崎和幸(JAMSTEC, NASA)・藤原正智(北大)・野津雅人(首都大)・塩谷雅人(京大)・長谷部文雄(北大)・松本淳(JAMSTEC, 首都大)・Jacquelyn Witte・Anne Thompson (NASA)・Nguyen Hoang Anh・Nguyen Vinh Thu (ベトナム気象水文局)
- 10:20 - 10:40 バングラデシュレーダーで観測された降水システムと雷活動の関係  
村田文絵(高知大理工)・東修平(高知大大学院)・林泰一(京大東南研)・木口雅司(東大生産研)・S.M.Quamrul Hassan・Shamsuddin Ahmed(バングラデシュ気象局)
- 10:40 - 11:00 火山起源成層圏エアロゾルをトレーサとした赤道域における物質の水平並びに鉛直輸送の観測  
阿保真・柴田泰邦・長澤親生(首都大)
- 11:00 - 11:20 南極大型大気レーダー (PANSY) で推定された南極上空の乱流エネルギー散逸率  
高麗正史(東大院理)・佐藤薫(東大院理)・富川喜弘・西村耕司(極地研)・佐藤亨(京大国際高等教育院)
- 11:20 - 11:40 最近のIUGONETプロジェクトの活動とその成果報告  
新堀淳樹(名大ISEE)・田中良昌(極地研)・梅村宜生(名大ISEE)・阿部修司(九大ICSWSE)・上野悟(京大天文台)

11:40 - 12:40

=== 昼食 ===

(座長: 大塚雄一)

- 12:40 - 13:00 電離圏3次元トモグラフィの衛星測位補正への応用について  
斎藤享(電子航法研)・Suzelle Meyer (電子航法研/INSA, 仏)
- 13:00 - 13:20 イオノゾンデの受信アレイを用いた電離圏エコー到来方向の推定  
西岡未知・前野英生・近藤巧・津川卓也(NICT)
- 13:20 - 13:40 Comparison of daytime medium-scale traveling ionospheric disturbance between GPS observation  
Mani Sivakandan・Yuichi Otsuka・Ghosh Priyanka・Atsuki Shinbori (ISEE, Nagoya Univ.)・Hiroyuki Shinagawa・Takuya Tsugawa・Michi Nishioka (NICT)・Yasunobu Miyoshi (Kyushu Univ.)
- 13:40 - 14:00 Role of pre-reversal enhancement in the generation of equatorial plasma bubble using observation and model simulation  
Ghosh Priyanka・Yuichi Otsuka・Mani Sivakandan (ISEE, Nagoya Univ.)・Takuya Tsugawa・Hozumi Kornyanat・Hiroyuki Shinagawa (NICT)
- 14:00 - 14:20 衛星ビーコン観測に基づくアジア域の電離圏赤道異常の日変化・季節変化の研究  
坂本悠記・山本衛(京大RISH)・穂積コンニャナット (NICT)
- 14:20 - 14:40 Overview of the new VHF radar project in Chumphon, Thailand  
Kornyanat Hozumi・Takuya Tsugawa・Shinichi Hama (NICT)・Punyawit Jamjareegulgarn (KMITL PCC)・Pornchai Supnithi (KMITL)・Susumu Saito (ENRI)・Yuchi Otsuka (Nagoya Univ.)

-----  
お願い

(1) 懇親会について

参加費： 一般：4,000円、学生：2,000円（予定）  
会場： 京都大学宇治キャンパス生協2階「ピアチ」  
申込み： 当日、受付にて出欠をお知らせ下さい

(2) 発表について

講演会場にはPCプロジェクタ1台を用意します。ご自身でノートPCを接続して下さい。それ以外が必要な場合には、事前に橋口 (hasiguti@rish.kyoto-u.ac.jp) まで御連絡下さい。

(3) プロシーディングについて

プロシーディングを作成いたします。発表いただいた方々には、下記要領にて原稿を作成・ご送付いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。  
発表で使われたPowerPointファイルをお送り頂いても結構です。縮小して印刷いたします。

用紙： A4縦

ページ数： 2～6ページ

原稿締切： 2019年9月10日（火）（シンポジウム終了時まで）

送付方法： WordまたはPowerPointファイルを電子メールにてお送り下さい

あて先： 電子メール： ear-sympo@rish.kyoto-u.ac.jp

郵送の場合は下記宛に送付

〒611-0011 宇治市五ヶ庄

京都大学生存圏研究所 橋口浩之

電話 0774-38-3819

備考： PDFファイルをホームページに掲載します。（冊子体を作成する場合は白黒で印刷します。）